

	<h1>れんごう下越</h1>	<p>第 121 号 2016.4.15 発行人 福井 正史 1 部 5 円 購読料は会費に 含 En la union Esta la fuerza 団結こそ力</p>
<p>日本労働組合総連合会新潟県連合会・下越地域協議会 957-0054 新発田市本町 1-1-6 総合生協会館内 TEL0254-26-3705 FAX0254-26-0556</p>		

## 連合下越地協 2016 年春季闘争、地場中小取り組み

中小・地場組合の交渉支援と未組織労働者への波及を！



連合新潟中小・地場総決起集

連合新潟は、4月2日（土）新発田市生涯学習センターにて連合新潟 2016 春季生活闘争勝利！中小・地場総決起集会を開催しました。開催にあたり、冒頭齋藤会長は「連合は年末から夏の参議院選挙に向け、クラシノソコアゲ応援団を掲げ取り組んでいる。16 春季生活闘争は、底上げ、底支え、月例賃金にこだわり中小・地場はこれからが本番の組合が多くある。最後までねばり強い交渉をお願いします。また、その結果が未組織労働者へと繋げよう」と挨拶しました。その後、下越地協を代表して新発田市職労斉藤賢さん、日本海 LNG 労組高橋嘉行さん、水沢科学労組内山和典さん、3 名の方から春季生活闘争の取り組みについて決意表明があり、集会アピールを下越地協青年女性委員長遠藤登志夫さんが読み上げ、参加者全員で確認し新発田市内をデモ行進しました。働くことを軸とする安心社会の実現に向けて共にがんばりましょう！！



新発田市へ自治体申し入れ

新発田支部は「2016 春季生活闘争にかかわる要請書」を新発田市に提出しました。若月支部長、小坂新発田市議、久志田事務局長の 3 名が新発田市役所を訪問し、下妻副市長に要請をしました。具体的には①しばた魅力創造戦力に基づき雇用創出を図ること②改正労働者派遣法への対応③障害者雇用の環境整備④高校の授業料以外の負担の軽減の支援について⑤若者の雇用促進、I ターン U ターン対策⑥新発田市の奨学金制度の新設⑦社会保険未加入企業への対応⑧保育施設の充実と保育現場従事者の労働条件改善⑨医療・介護機関の充実と労働条件改善の以上 9 項目と人材確保の取り組みについて意見交換し、新発田市の景気はアベノミクスの効果が感じられず、有効求人倍率は 1.23 と高い数字だが景気回復に至っていない。新発田市の奨学金制度の新設については、納得できる内容にしたいので、議会で議論しながら進めたいとあり、後日文書にて回答を頂くことを確認しました。

# 連合下越地協第 87 回メーデー

## テーマ「底上げ・底支え」

**支え合い、助け合う、心をひとつに力を合わせ、  
暮らしの底上げを 実現しよう！**

開催地区	開催日	時間	参加予定	式典会場	デモ行進	内 容
村 上	4月29日 (金)	9:30	300人	村上市 勤労青少年ホーム	○	集会・プラカード審査 お楽しみ抽選会
胎 内	4月27日 (水)	18:30	300人	胎内市 産業文化会館	×	記念式典 お楽しみ抽選会
新発田	5月1日 (日)	10:00	700人	新発田市 市民文化会館	○	式典・プラカード審査 抽選会
阿賀野	5月1日 (日)	10:00	100人	阿賀野市 瓢湖水きん公園野 外ステージ	×	式典※雨天時は福社会館 イベント
五 泉	4月29日 (金)	10:00	300人	五泉市 総合会館小ホール	○	式典・プラカード審査 お楽しみ抽選会
東蒲原	4月29日 (金)	10:30	100人	阿賀町 文化福社会館	×	※前夜祭 28日は ボウリング大会

### 日本のメーデー

日本では、1920年5月2日日曜日に第1回のメーデーが上野公園で行われ、およそ1万人の労働者が「治安警察法の撤廃」「失業の防止」「最低賃金法の制定」などを訴えました。翌年からは5月1日となり、開催地や参加人数も増えていきましたが、1936年から1945年までの10年間は戦時下などの理由で開催が禁止されました。敗戦直後の1946年の大会では、北海道から九州まで開催し「働けるだけ喰わせろ」をスローガンに掲げ、11年ぶりに盛大に開かれました（飯米獲得人民大会“食糧メーデー”）。日本の主権回復後に行われた1952年の第23回目メーデーでは、サンフランシスコ講和条約、日米安全保障条約への抗議も主張に含まれ、一部のデモ隊が皇居前広場に入り、解散しようとした矢先に警官隊が撃ったピストルで多数の死傷者（死者2名、重軽傷者2千数百名）を出す事件（血のメーデー）もありました。この様な歴史を重ねながら87回目のメーデーを多くの皆さんで開催できる事の意義は深く、改めて『労働者の団結』『平和と幸せへの闘い』を決意し連帯の輪を広げていきましょう。